

平成 29 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

【ふるさとの森林づくり大賞】

受賞者名	かぶしきがいしゃ KOA株式会社	住所	上伊那郡箕輪町
<功績事項>			
<p>同社は、企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あつての人類、人あつての経営」という理念の下、社内外の人材育成に取り組んでこられました。その一環として、KOA森林塾を開催しており、元大学教授らを講師に招き、人工林の手入れに関する知識や技術を伝え、森林整備の担い手を増やすための講座を平成6年から始め、平成28年まで629人（延べ979人）が参加されています。</p> <p>また、「森林（もり）の里親促進事業」に基づく森林（もり）の里親契約により伊那市内の森林整備を進めたこと、下伊那郡阿智村に新設した工場に県産材をふだんに活用し、県産材の活用とCO₂固定による地球温暖化防止に貢献されたこと、林務部改革に向けて民間経営の視点からご指導・ご助言いただいたことなど、様々な分野において長野県の森林づくりに貢献いただいています。</p>			

【森林づくり推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	にしやまさとやま かい 西山里山の会	住所	岡谷市
<功績事項>			
<p>同団体は、平成18年7月豪雨災害の後、災害に強い森林づくりに取り組んできた岡谷市花岡区の活動を継承する形で平成24年1月に発足し、災害に強い森林づくりを進めるための森林整備や災害を未然に防止するための山地防災ヘルパーによるパトロールなどに取り組まれています。</p> <p>また、地元中学校の総合学習の時間や地域の植樹祭などの機会を捉えて、災害に強い森林づくりの発信・普及に取り組むとともに、若い世代でも地域の様子が分かるように昔ながらの字名をとりまとめた「花岡・地字図」を作成するなど、災害に強い森林づくりの次世代への継承にも配慮し貢献されています。</p>			

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	いとう おさむ 伊東 修	住所	伊那市
<功績事項>			
<p>同氏は、長年にわたり林業に携わる中で炭焼きの伝統的な技術を習得し、平成7年から平成27年までの21年間にわたり、県の指導林家（特用林産）として、年代や場所を問わず広く炭焼き技術の普及に取り組まれました。</p> <p>普及活動においては、黒炭窯などの伝統的な技術の普及に加え、ドラム缶による炭窯作成や伏せ焼による飾り炭の生産など新たな技術も交えて小学生への指導も行うなど、次世代への炭焼き技術の継承にも大きく貢献されています。</p>			

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	ルイジ・フィノキアーロ	住所	東京都港区
<功績事項>			
<p>同氏は、在日オーストリア大使館商務部の上席商務官であり、日本の山村地域の振興を図るために林業・木材産業・木質バイオマスに係るオーストリアの先進的な技術・制度等を日本へ普及する取組を積極的に展開されています。</p> <p>全国各地で取組を行っている中で、長野県においては、長野県とオーストリア政府機関との技術交流に関する覚書の締結をコーディネートするなど、オーストリアの先進的な技術を長野県に導入するに当たり、大きく貢献をされました。</p>			

賞名	長野県知事賞（功労者特別賞）		
受賞者名	こばやし のりゆき 小林 紀之	住所	神奈川県横浜市
<功績事項>			
<p>同氏は、北海道大学農学部林学科を卒業後、住友林業株式会社に入社し、退職後は日本大学法務研究科教授として、森林と地球温暖化問題の関わりなどを研究されました。</p> <p>また、全国各地の地方自治体における CO₂ 吸収・固定などの委員会委員長を歴任され、長野県においても森林 CO₂ 吸収評価認証委員会、県産材 CO₂ 固定量認証制度審査委員会の委員長を歴任いただきました。</p> <p>同氏は、平成 29 年 10 月 1 日に 77 歳でご逝去されましたが、長年にわたり長野県の森林・林業の発展向上に多大なるご尽力いただいたことを称えるとともに、長野県の森林 CO₂ 吸収評価認証などの発展に資するため多額の寄付をいただいたことに感謝し、表彰いたします。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	あさはら たけし 浅原 武志	住所	上水内郡信濃町
<功績事項>			
<p>同氏は、上水内郡信濃町を中心に「森林（もり）の里親促進事業」に基づく里親契約の締結などを積極的に進め、森林の総合的な利活用による地域活性化に大きく貢献されています。</p> <p>近年は、日本通運健康保険組合、信濃町及びびしなの町 Woods-Life Community との間での森林セラピー活用に特化した森林（もり）の里親契約締結にご尽力されました。</p> <p>また、長野県が進めている長野県森林セラピー推進協議会の委員（アドバイザー）として、同氏の経験や知識に基づいたご助言をいただくなど、長野県の森林セラピー推進にご尽力いただいています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	やまぎわ たちゅう 山極 太忠	住所	埴科郡坂城町
<功績事項>			
<p>同氏は、平成20年2月から平成29年1月までの3期9年間、埴科郡坂城町の南条地区にある南条生産森林組合の組合長理事として、関心が希薄になりつつあった里山の森林整備を進め、カラマツ林の带状更新伐やアカマツ林の樹種転換に取り組まれるなど、森林資源の平準化や次世代のための森林づくりに貢献されてこられました。</p> <p>また、森林（もり）の里親契約による企業との連携や、学術研究や地域の森林活動にフィールド提供するなど、企業や地域住民など様々な主体との連携による意欲的な森林づくりにも取り組んでこられました。</p>			

賞名	長野県林業普及協会会長賞		
受賞者名	けしぼうずやま しみん もりせいびすいしんきょうざいかい 芥子坊主山・市民の森整備推進協議会	住所	松本市
<功績事項>			
<p>同団体は、松本市岡田にある里山「芥子坊主山」の森林整備を推進するため、松本市が中心となって市民有志を集め、平成20年に発足しました。これまでに、月2回のボランティアによる下刈り、除伐、間伐など幅広い森林整備を進めるなど、地域の森林づくりに貢献しておられます。</p> <p>また、地域住民や小学生を対象としたイベントや自然観察会などを開催し、森林整備の重要性やボランティアによる森林整備活動などを啓発することで、次の世代に森林を引き継ぐ活動にも積極的に取り組まれています。</p>			

賞名	長野県山林種苗協同組合理事長賞		
受賞者名	こんどう けんいち 近藤 健一	住所	下伊那郡阿智村
<功績事項>			
<p>同氏は、昭和40年から林業用山行苗木の生産を始め、長年に亘り山林種苗の生産技術の改良に尽力し、優良苗木の育成による林業振興に貢献されてこられました。</p> <p>また、長野県山林種苗協同組合下伊那支部の副支部長並びに、飯伊山林種苗生産者組合の組合長などを長年に亘り努め、生産者の地位向上及び地域の産業形成に大きく貢献されてこられました。</p> <p>自然環境に左右される苗木生産に当たっては、状況に応じて臨機応変な対応をするとともに、安定的かつ優良な苗を供給するため、常に創意工夫も図っておられます。</p>			

賞名	長野県特用林産振興会長賞		
受賞者名	てんりゅうがわがりゅうきょうふっかつ 天竜川 鷺流峡復活プロジェクト	住所	飯田市
<功績事項>			
<p>同団体は、天竜川時又港の上流に位置する鷺流峡の放置竹林解消に向けて、天竜舟下り株式会社と飯田市竜丘地域自治会の協働により平成 27 年に設立された団体で、これまでに地域の関係者の連携による竹林整備を進め、放置竹林に覆われ真っ暗だった鷺流峡が今では光が差し込む明るい鷺流峡に変化を遂げるなど、地域の竹林整備に大きく貢献されています。</p> <p>また、伐採した竹の有効活用にも積極的に取り組んでおり、竹灯籠や竹筏を製作しているほか、タケノコやメンマとして地元農産加工所と連携による販売にも取り組まれています。</p>			

賞名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	しおざわ ひさいち 塩澤 久一	住所	下伊那郡喬木村
<功績事項>			
<p>同氏は、48 年もの長きに亘る狩猟歴において、模範的な狩猟者として地域の適正な狩猟活動に大きく貢献されています。</p> <p>また、狩猟監視員及び大日本狩猟指導員をそれぞれ 19 年、長野県猟友会理事を 8 年、飯伊連合猟友会会長を 8 年、同猟友会副会長を 11 年務めるなど、県下の猟友会員の事故防止、狩猟マナーの向上など猟友会の発展に大変な尽力をされるとともに、捕獲活動への協力によって、地域の野生鳥獣被害対策の推進に大きく貢献されています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	<small>みのわちょうりつみのわにししょうがっこう</small> 箕輪町立箕輪西小学校みどりの少年団 <small>かみふるたにしやまかい</small> 上古田西山会	住所	上伊那郡箕輪町
<p><功績事項></p> <p>昭和57年に同校でみどりの少年団が結団されて以来35年間の長きに亘り、植樹作業や間伐作業体験など活発な少年団活動が行われています。平成18年7月豪雨災害を契機に結成された上古田西山会は、これらの活動に積極的に指導・支援しており、平成20年には区有林（旧県営射撃場）の一部を「同校みどりの少年団の森」と名付け、活動のフィールドとして提供しています。</p> <p>当該団体のように地元区と少年団活動が一体となった活動は、継続的な森林環境教育の実施に繋がっており、林業体験などを通じた児童の森林教育に大きな効果を挙げています。</p>			

賞名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	<small>こうりつだいがくほうじんながのだいがく</small> 公立大学法人長野大学 <small>もりめぐ</small> (森の恵みクリエイター養成講座)	住所	上田市
<p><功績事項></p> <p>同大学は、学生が、主体的に森林の伝統的な価値の再生と新しい価値の創造を通じて、森林の多様な生態系サービスが地域にもたらせる仕組みを作り上げることを目的とした同講座を開設し、大学所有林やキャンパス周辺の里山を対象に地域と連携した環境教育を継続的に実践しながら、森林の再生・保全・活用に関する様々な研究に取り組んでいます。また、「全国植樹祭ながの2016上田会場」では、日々学んでいる知識や技術を活かし、学生が植栽デザインや環境教育プログラム、薪ボイラーによる足湯を企画するなど、参加者に植樹の意義や森林の役割などを説明し、全国植樹祭の成功にも大きく貢献されました。</p> <p>さらに、近年は東日本大震災被災地において、被災地里山救済・地域性苗木生産・植栽プロジェクト「たねぶろじえくと」を通じた海岸防災林再生活動も実施しており、県域を越えた活動を含め、今後の地域を支える人材育成にも積極的に取り組まれています。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	<small>きみどりかい</small> 木実鳥の会	住所	木曽郡木曽町
<p><功績事項></p> <p>同団体は、木曽地域の林業に関係する女性の組織として、地域の森林・林業の活性化を図ることを目的に、長きに亘り活動を続けてこられました。</p> <p>女性会員自ら、樹木の植栽や伐採など森林・林業に関する研修会や視察などを行っており、確かな技術や知識に裏打ちされた指導を、地域の植樹祭やみどりの少年団交流集会など様々な地域活動の場において実践されています。</p> <p>そうした地域の森林・林業活動への貢献が森林環境教育の推進に大きく寄与しています。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	<small>おおしかそんりつおおしかちゅうがっこう</small> 大鹿村立大鹿中学校	住所	下伊那郡大鹿村
<p><功績事項></p> <p>同校は、職場体験の一環として林業に着目し、生徒が働くことの意義を学び、森林・林業への知識を深めることを目的として、体験活動を重視した森林学習を展開してこられました。</p> <p>実際の森林で行う間伐や枝打ちなどの作業体験は、生徒が森林・林業をより身近に捉えられるきっかけとなっており、将来の林業の担い手育成にも大きく貢献されています。</p> <p>また、森林作業のみならず、木工や製材などの木材利用も森林学習には含まれており、森林整備から木材利用といった総合的な森林環境教育を実現しています。</p>			

【信州の木利用推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	おぐら ひろき 小椋 浩喜	住所	木曾郡南木曾町
<p>＜功績事項＞</p> <p>同氏は、国の伝統工芸品に認定されている南木曾ろくろ細工に昭和58年から従事し、平成14年には日本の伝統工芸士として認定されています。キサゲを使った微妙な曲がりやバランスの表現を得意とし、サラダボール・こね鉢などの製品を主とした製作活動を継続されています。</p> <p>また近年は、従来の商品に加え、新規商品の開発や海外デザイナーとのコラボレーションも進め、ろくろ細工の技術を活かした木製スピーカーの製作にも取り組まれています。</p> <p>伝統的な技術を活かした新たな県産材製品の開発などにより、県産材の更なる利用拡大が期待されます。</p>			

賞 名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	りんゆう こうぎようかぶしがいしや 林友ハウス工業株式会社	住所	安曇野市
<p>＜功績事項＞</p> <p>同社は、安曇野市で木材の加工販売を行い、近年では県産材の加工販売も手掛け、信州木材認証製品工場となっています。</p> <p>カラマツ材がもつ水に強い特徴が外壁材として非常に高性能であることに注目した新たな木壁材「T&T パネル」を開発するなど、木材の新たな用途開発に積極的に取り組むとともに、安曇野市が策定している「安曇野材利用促進プロジェクト」でも重要な役割を果たすなど、地域材利用促進に大きく貢献されています。</p>			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	かぶしきかいしゃ 株式会社セガホールディングス	住所	東京都品川区
<p>＜功績事項＞</p> <p>同社は、平成20年4月に南佐久郡南相木村と、「森林（もり）の里親促進事業」に基づく10年間の「セガの森」森林の里親契約を締結されました。現在までに、南相木村への支援金を通じて、村内民有林約560haの間伐を中心とした森林整備が実施された他、社員とその家族による地域交流も行われ、健全な森林づくりと地域の活性化に大きく貢献されています。</p> <p>また、同社と南相木村との協働による森林整備が県のCO₂吸収評価の認証も受けるなど、森林の持つ重要な働きを広く普及することにも尽力されました。</p>			

賞名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	うぶゆおけ 産湯桶でウッドファースト協議会	住所	木曽郡南木曽町
<p>＜功績事項＞</p> <p>同団体は、「信州の木活用モデル地域支援事業」を活用し、木曽のサワラを使用した産湯桶「うふっ湯桶」を開発され、販売しています。「うふっ湯桶」を使い、産まれた時から木と親しむ機会を得た赤ちゃんは、木材の持つ保湿性・肌触り・香りなどの良さを身近に感じることができ、木がある暮らしを愛する「ウッドファースト」な感性を持ち合わせることが期待されます。</p> <p>また、「うふっ湯桶」は、ウッドデザイン賞2017においてハートフルデザイン部門奨励賞を受賞するなど、高く評価されています。</p>			